

授業科目 応用臨床栄養学実習

【担当教員名】 山本通子	対象学年	4	対象学科	健康
	開講時期	前期(集中)	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	90

【概要】

将来、病院の栄養士を希望する学生が、臨床栄養学実習II（臨地実習）で学んだ知識や技術を用いて、実際に栄養アセスメントを行い、食事療法の立案、実施、評価と続く応用的な理論と技術の習得を目的とする。医療の場で2週間学ぶ。

- 【学習目標】
1. 臨床栄養分野への理解を深める。
 2. 臨床栄養に関する知識と技術を実践的に統合できる。
 3. 専門職としての自覚を高め、職業倫理を身につける。
 4. 個別症例において、栄養アセスメント、献立作成、栄養指導などを体験し、食事に関連する医学的、社会的側面も学ぶ。
 5. 事例体験の概念化、理論化の訓練を行う。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO
		番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	<p>1. 実習期間 5～7月中の2週間（予定）</p> <p>2. 実習施設 ・新潟市内および近郊の病院 ・県外出身者の一部は地元の病院</p> <p>3. 実習内容 ・個別症例において、栄養アセスメント、献立作成、栄養指導などを体験する。 ・栄養指導に関連する医学的、社会的側面を学ぶ。 ・事例体験の概念化、理論化の訓練を行う。</p> <p>4. 実習方法 ・1施設2～3名のグループを編成して実習</p>	<p>学習方法：各施設にて実習 学習課題：具体的事項は各施設の指導担当者と相談してきめる 担当教員：各施設の指導担当者（管理栄養士）</p>

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 学生が提出する報告書	【限修上の留意点】 臨床栄養学実習IIと異なり、自分でテーマを決めて重点的な実習を行う。
----------------------	---